
花鳥風月～花よりも華

佐保

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

花鳥風月〜花よりも華

【Nコード】

N7346Z

【作者名】

佐保

【あらすじ】

神話と魔法に満ちた、小さな島国「秋津島国」

神の息子である<皇>、その代理であり国主でもある秋津島公爵が統治する、現代日本に似た世界。

そんな世界で、できれば給料のいい会社にOL就職希望！の少女の目から見た、かなり変わった秋津島国の人々の話を描いていきます。本人には受難ですが、ほぼ十割喜劇です。

「人生、諦めつつ肝心だと思っよ」

「こんなこと、諦められるか。バカああああ！！！！アンタたち、どこまで私に迷惑かけるつもりなのよ！！もう少しおとなしくしてなさああい！！！！」

（ちよっぴり血などの表現があるので、「残酷描写」にチェック入れています）

不幸な少女のある一週間 01

私は両親はいないが、下に弟妹合わせて4人抱えてる、ごくごく普通の16歳の女子高生だ。

ある一面においては「普通」というには若干憚られる習い事をしてて、その師匠が後見人になってくれているので、孤児として暮らさなくても済むのが幸いだが、それを除けば本当に普通以上の何者でもない単なる高校生だった。

そう、過去形になってしまつのはどうしてなのか、私が一番知りたいと思う今日この頃……。

「よしっ、柚月、美夜、陽花、夕鶴、起きなさいーっっっ!!!」

息を吸って、ご近所迷惑にならないくらいの大声で、上から順に名前を呼ぶと、まず中学生は14歳コンビの美夜と柚月が起きて来た。

「はよ、雅姉」

「おはよ…雅姉さん。あ、柚月。チビたちいないわよ」

「ホントだ。すぐ、起こしてくる」

Uターンした柚月が隣の部屋を開けると、小学生8歳コンビの陽花と夕鶴を両脇に抱えてやって来る。

「おはよーですう」

美夜はその間に、私が洗濯機に放り込んだ洗濯物を干し、夕鶴と陽花はお皿を出したり、箸を出したりする。

私を筆頭に、男女の双子が二組で、これが私の家族だ。

そして賑やかな朝食はきちんと「いただきます！」から。

「今日の夜はハンバーグにしようと思ってるんだけど、ダメな子いる？」

「あれ、雅姉ってば遅くなるんじゃないか？」

サラダをつまむ行儀の悪い柚月の手をぺしつと叩く。

お姉ちゃんはしっかり見てるのよ。

「んー。ほら、私16歳だから、そろそろ『アレ』があるのよ。何準備すればいいのかわかりわかってないから、師匠に聞いておこうと思ってるね。練習せずに帰ってくるから、そんなに遅くはならないつもり」

「ああ、『アレ』ね」

「『アレ』かー。姉さん、一週間もいなくなるのね。寂しいわ」

柚月と美夜がなるほどね、とうんうんと頷きあつと、ちび二人が私のスカートを引っ張る。

「ねーちゃ、どこいくんだ？ゆづ、おいて。ひでーよ」

「そーだ、そーだ。よーかもつれてってよ、ねーちゃ」

「…アンタたちがこのマンションで暮らせるのは誰のおかげかなー」
「？」

私が問いかけると二人がはい、と可愛く手を挙げて答える。

「…ううところは可愛いよね、チビたちは。」

「みやびねーちゃんのおししょーさまの、ときわさまがこーけんじん
をしてくれてるおかげです！」

「くのが「せーかつほごひ」をだしてくれてるおかげです！」

「よくできました。アンタたち、賢いわ！」

よしよしと二人の頭を撫でると、気持ち良さそうに笑うの。

不幸な少女のある一週間 02

私たち孤児には、国から18歳になるまで手厚い生活保護費が出る。

この国では、子供はもつとも貴重な財産とされているからだ。

マンションは両親の保険でなんとかあったけど、生活費はどうしようもないので…正直ありがたい。

私はことあるごとに、小さい子でもわかるように、ここで暮らせるのは、私の師匠である常盤様が後見人になってくれていること、国が子供である私たちに生活保護費をくれていることを話している。どちらが欠けても、私達は家族揃っては暮らせなかつただろう。

自分たちは一人ではなく誰かに助けられて生きていることを知ってほしいと思うからだ。

俺は一人でも平気で生きていけるぜつ、なんて未成年で金も稼いだことのないバカで自惚れた人間にはなつて欲しくないのだ。

人に対する感謝の心がない人間は、ロクなものにならないだろう…私は愛する弟妹に絶対そんな人間になつてほしくなかつたから、口を酸っぱくして教え込んでいる。

礼儀と愛想と正しい心があれば、どこでも愛されるだろう。

私は可愛い弟妹に、できればそういう人間になつてほしいと思うのだ。

そこに世渡り上手というスキルを持つてくれたら、もう言うこと

なした。

「だから姉ちゃんはお国が仕事しなさいと言えば、しなきゃいけないよ。世の中、タダでお金もらえるほど、甘くないんだから」

もらう権利もあれば、国民の義務だつてあつて…その一つが16歳の少年少女を集めた軍事訓練の参加だった。

ちなみに絶対参加なので拒否権はよっぽどを除いてない。

正確にいうと、野外訓練であつて銃とかは持たないらしいが、どっちにしても山に籠ることはない。

16歳の次は20歳、そこから10年刻みで60歳まで計6回参加が義務づけられる訓練は、実のところ、皆がすごく楽しみにするものだ。

軍事訓練なのに楽しみつてあたりで間違っているような気がしないでもないけど、きちんと理由がある。

それに義務をきちんと果たすのは理由がなんであれ、国民としていいことだと思つのよね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7346z/>

花鳥風月～花よりも華

2011年12月24日12時50分発行